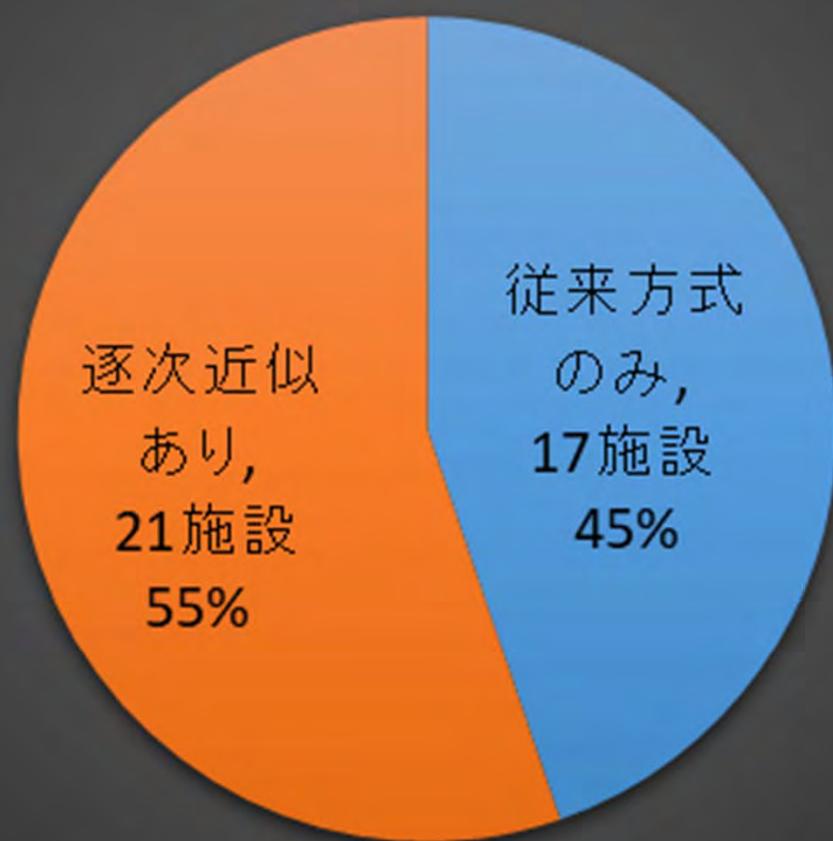
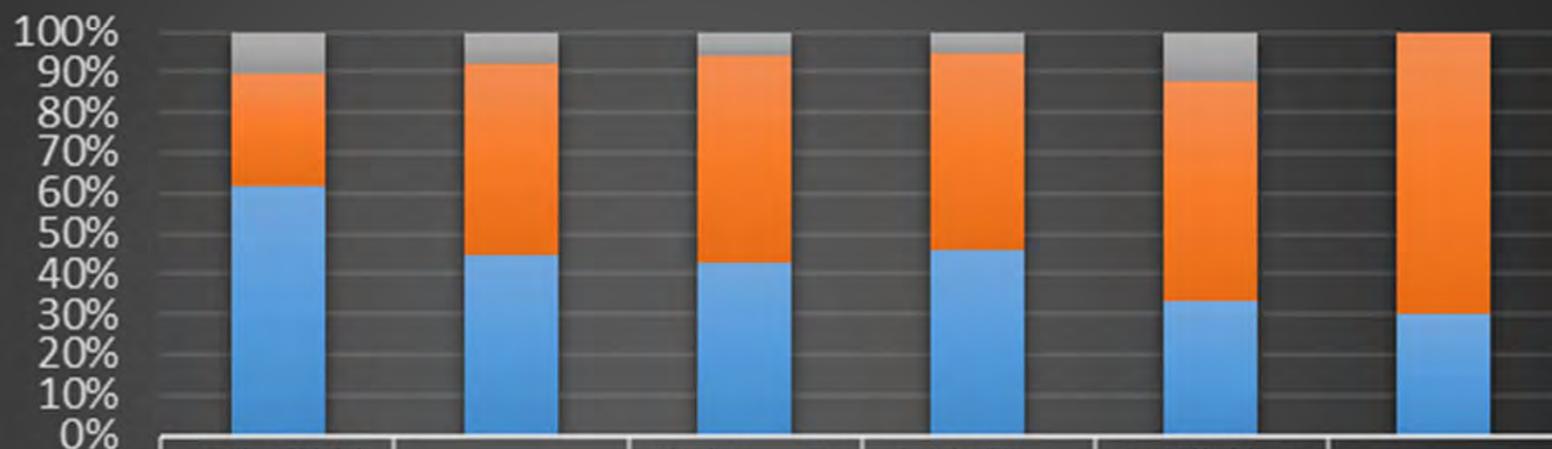


## 撮影方式別 回答施設数



## 部位別の撮影方式



	頭部単純ルーチン	胸部1相	胸部～骨盤1相	上腹部～骨盤1相	肝臓ダイナミック	冠動脈
■ 併用	4	3	2	2	4	0
■ 逐次近似のみ	11	18	18	18	18	14
■ 従来方式のみ	24	17	15	17	11	6

■ 従来方式のみ ■ 逐次近似のみ ■ 併用

## ⑭CTにおける線量指標

集計していて間違いと思われる数値がある。  
特に肝臓ダイナミック。



- 肝臓ダイナミックは胸部や骨盤を含まない。  
CTDIは全相の平均、DLPは検査全体
- 冠動脈のCTDIはCTA本スキャン、DLPは検査全体

上記説明を次年度より追加

# ⑭CTにおける線量指標

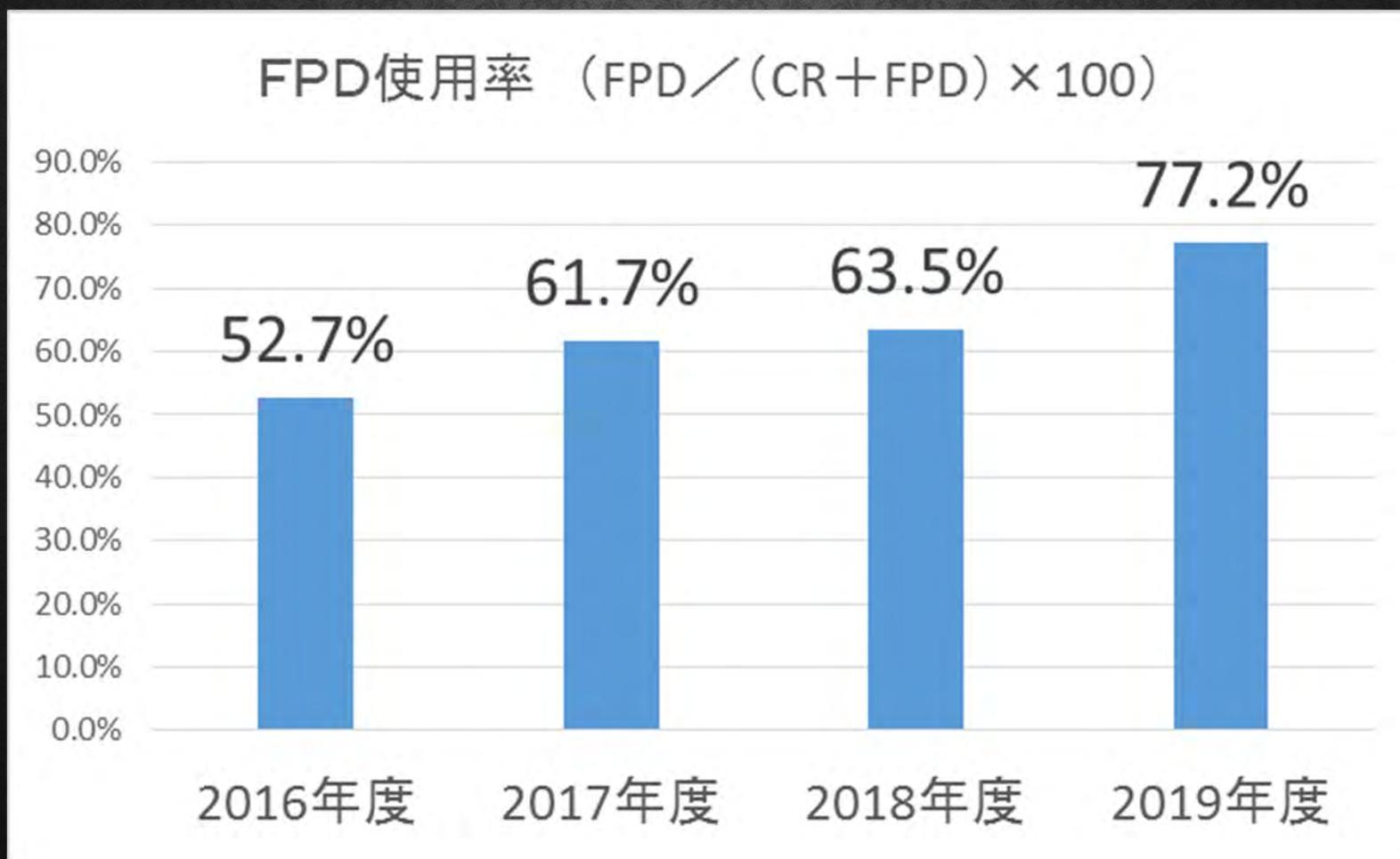
???

逐次近似法利用検査を含む全て			逐次近似法利用検査のみ		
	CTDIvol (mGy)	DLP (mGy·cm)		CTDIvol (mGy)	DLP (mGy·cm)
頭部単純ルーチン			頭部単純ルーチン		
胸部1相			胸部1相		
胸部～骨盤1相			胸部～骨盤1相		
上腹部～骨盤1相			上腹部～骨盤1相		
肝臓ダイナミック			肝臓ダイナミック		
冠動脈			冠動脈		

逐次近似法を利用した検査と利用しない検査が混在する場合の説明と集計定義（混在の場合は、数値の大きい検査を集計）が必要か。

⑮ 一般撮影における線量指標  
における変更点

→CRとFPDを分けずに収集



## ⑮ 一般撮影における線量指標

### その他、変更点

- 頭部側面がDRLs2020で削除されているが、QIでは継続して収集した。また今回は比較対象としてDRLs2015の値を比較対象として使用している。
- DRLs2015では胸部正面に区分はなかったが、DRLs2020から、100kv未満、100kv以上、検診100kv以上に区分けされている。QIでは区分けせずに収集を行った。  
今回のQIでは100kv以上の値を比較対象として使用している。

# 2020年度QIの追加項目

## 読影レポートの既読率

### 対象 CT・MRI

放射線科専門医による画像診断では、目的の領域だけでなく、撮像されたすべての画像の読影を行ったうえで読影レポートを作成している。その結果、担当医が予測していなかった領域の異常を指摘される場合があり、読影レポートの確認遅れが、診断・治療に重大な影響を及ぼす可能性があることから、担当医が速やかに読影レポートを確認することは、医療の質を担保するための重要な指標となる。

### 算出方法

分子：14日前に確定されたレポートのうち、現在の時点で担当医により  
既読とされたレポート件数

分母：現在から14日前に読影医により確定されたレポート件数

収集期間：1週間以上の継続したデータで算出レポート確定日の翌日  
から起算して14日以内に担当医により既読とされた件数の割合

# 手作業による集計方法

8日のレポート確定数のうち、22日時点でのレポート既読数をカウントし、この作業を1週間継続する。

9月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

# レポートシステムやRIS・HISなどで確定と既読のタイムスタンプが表示が可能な場合

未満

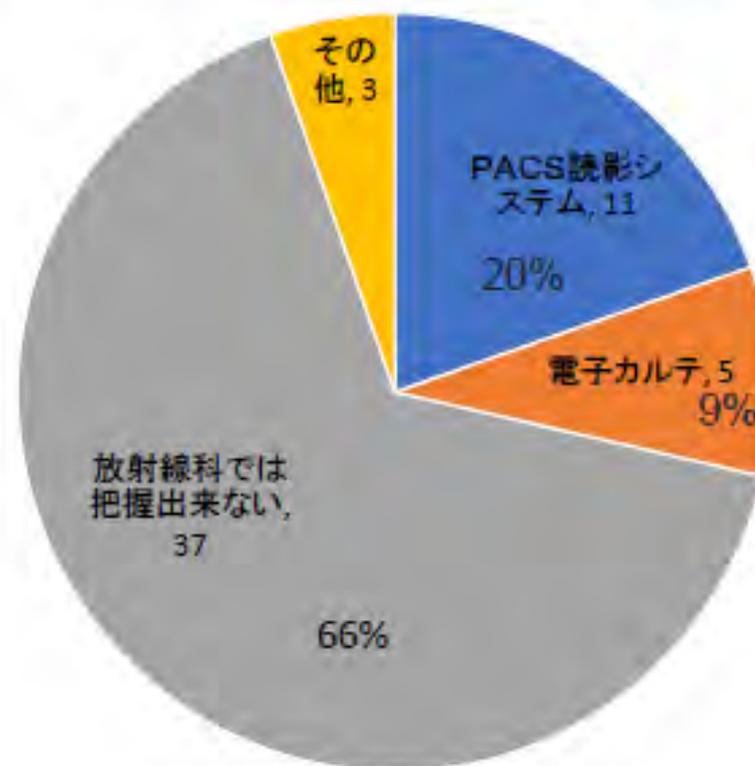
計算で日数差を算出し、15日以内の件数をカウント(セルとセルの引き算)

患者名	レポート確定日	レポート既読日		「既読日」-「レポート確定日」
患者1	2020/9/8	2020/9/15		7
患者2	2020/9/8	2020/9/16		8
患者3	2020/9/8	2020/9/23		15
患者4	2020/9/8	2020/9/13		5
患者5	2020/9/8	2020/9/14		6
患者6	2020/9/8	2020/9/15		7
患者7	2020/9/8	2020/9/30		22
∫	∫	∫		∫
患者200	2020/9/14	2020/9/27		13

2019年度 全国病院経営管理学会 診療放射線業務委員会

# 「放射線部門の安全管理」 ～読影レポート管理の現状～

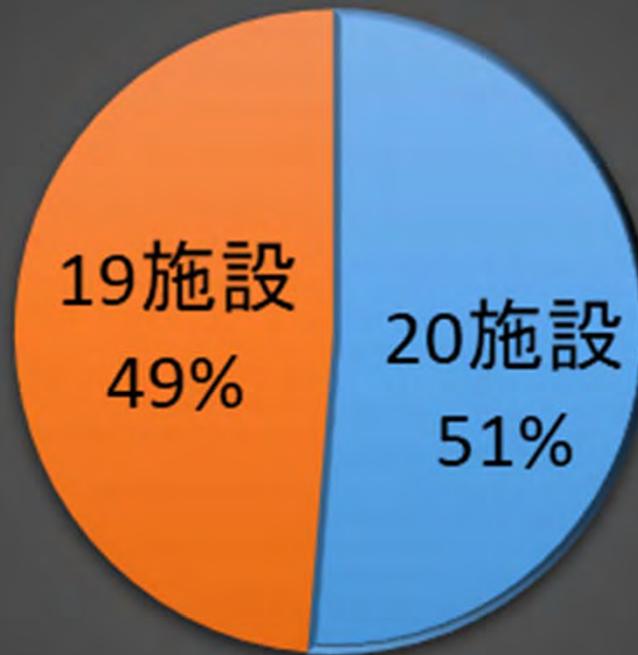
## ⑭読影済みレポートの開封/未開封の把握方法(複数回答)



(n=56)

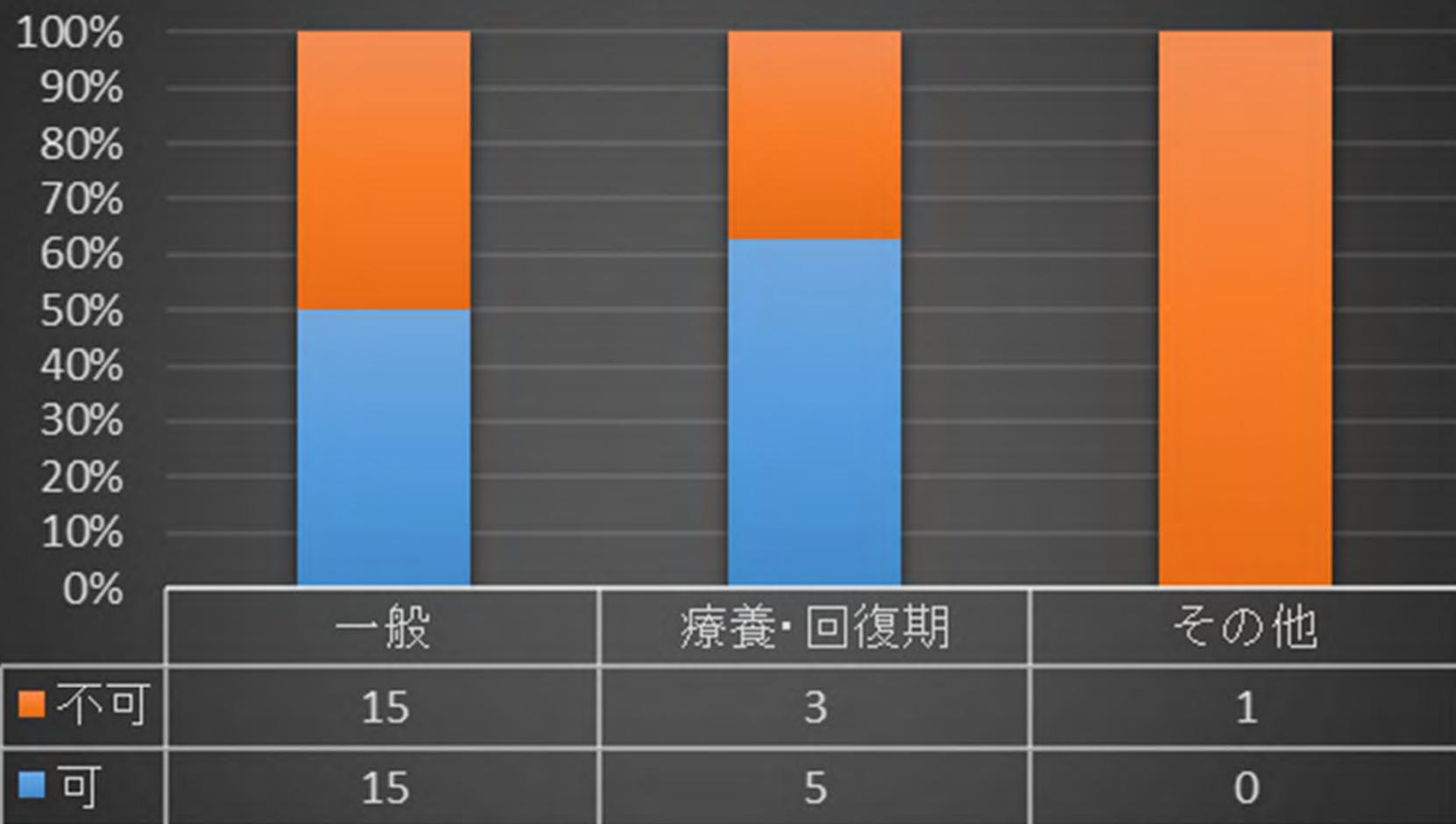
# 今回のQIでの回答結果

## 既読確認の可否



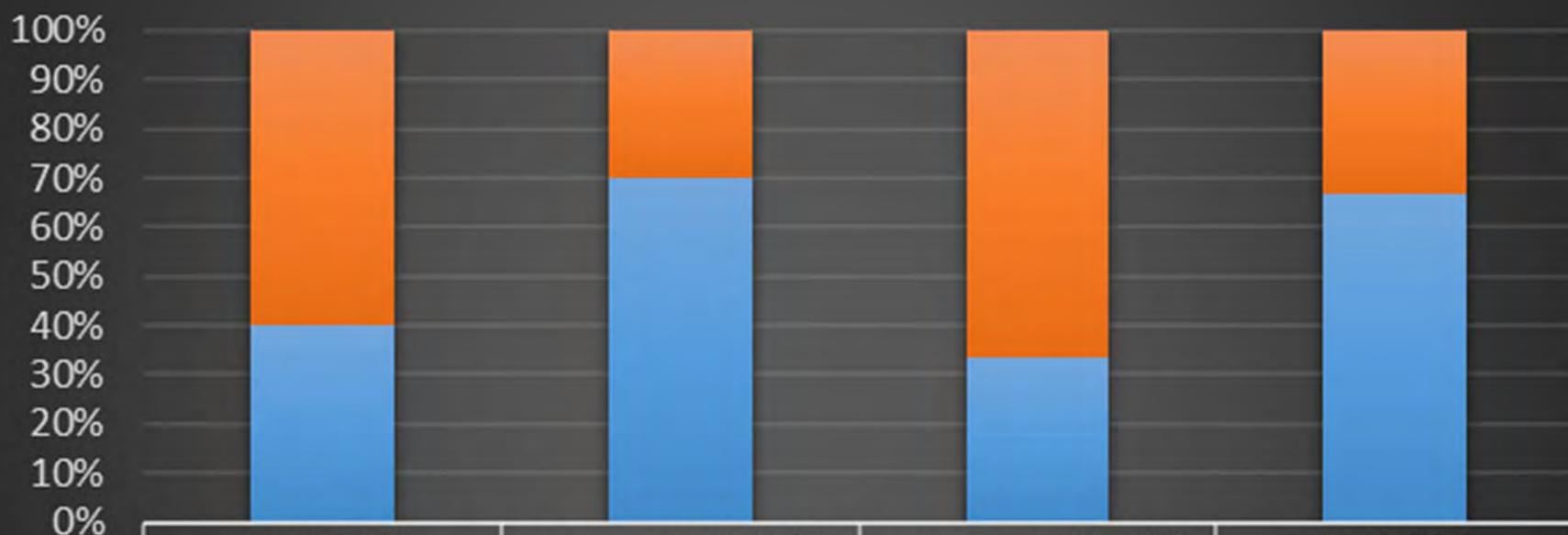
■ 可 ■ 不可

## 業態別、既読確認の可否



■ 可 ■ 不可

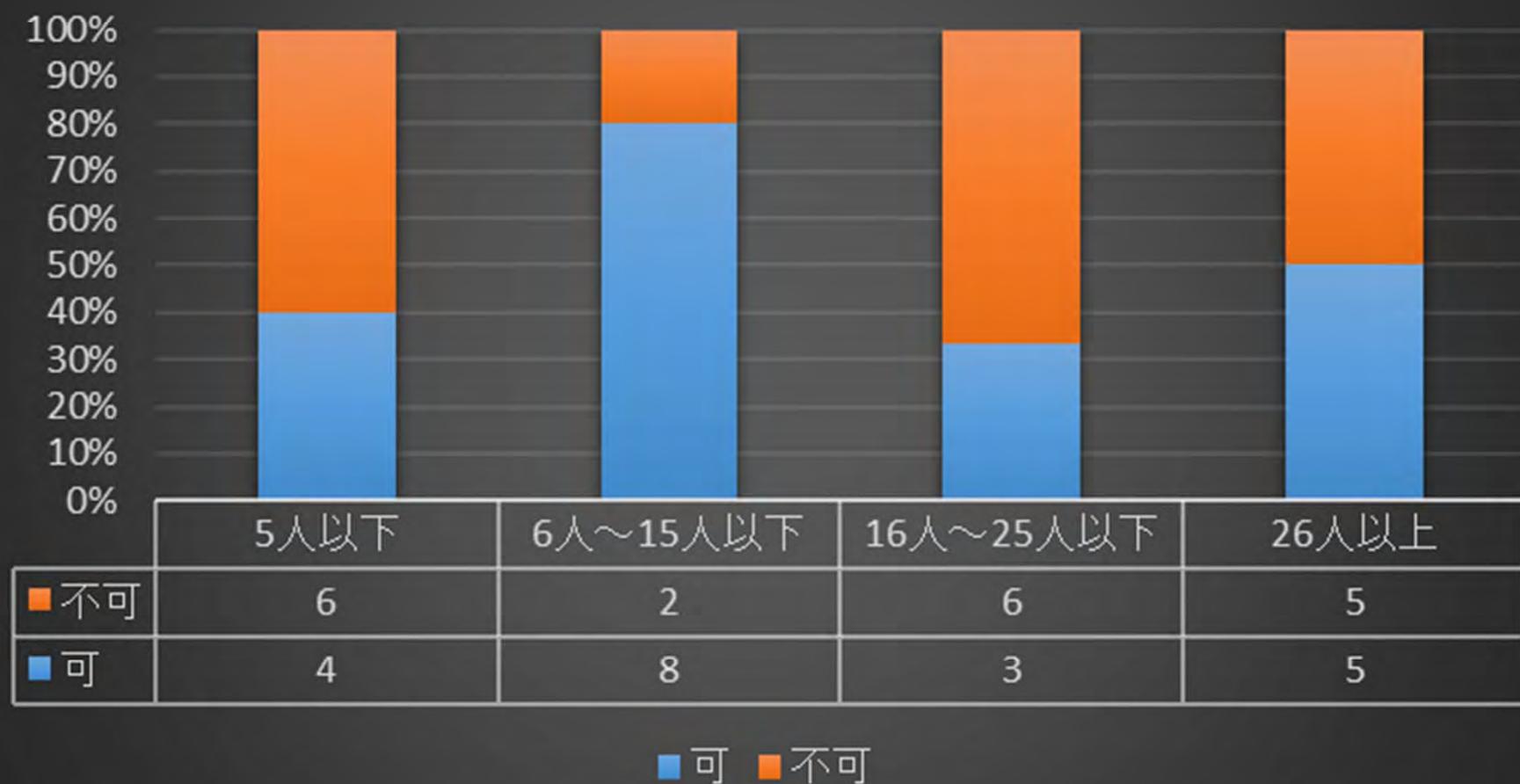
## 病床数別、既読確認の可否



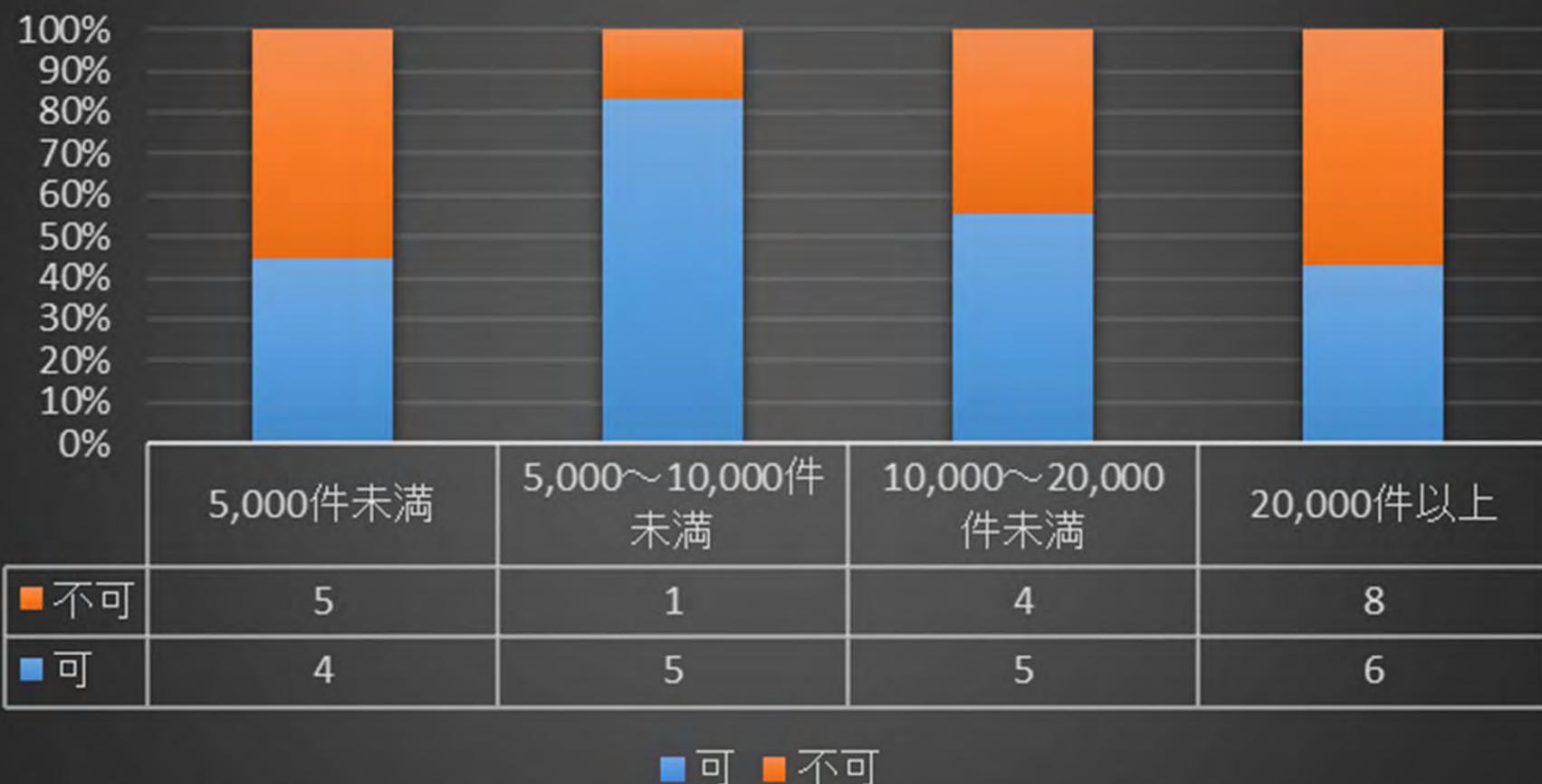
	100床未満	100~200床未満	200~500床未満	500床以上
不可	3	3	10	3
可	2	7	5	6

■ 可 ■ 不可

## 技師数別、既読確認の可否



## 件数別、既読確認の可否



最大値	100.0%
75パーセンタイル	97.6%
中央値	86.9%
25パーセンタイル	81.1%
最小値	34.0%
平均値	84.4%
施設数	19

既読率(全施設)

